

「より深め、より開き、より据える」 ～前へ 私たちの未来に繋げて～

第5回社員総会が開催されました



3月5日(木) 今年度のまとめとなる第5回社員総会が開催されました。令和7年度諏訪教育会事業報告の発表が行われた後に議事を行い、第1号議案「自然調査研究部 委員会統合案承認に関する件」、第2号議案「令和8年度諏訪教育会事業計画」、第3号議案「令和8年度収支予算書」が承認されました。

牛山 高彦 会長のあいさつより



今年度の諏訪教育会の活動も、本日の第5回社員総会をもって主な活動を終えようとしています。これまで、各校の代表としてご出席をいただきました社員の皆様には、様々な面でご尽力をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。

...〔第4回社員総会以降の教育会事業について、報告〕...

続いて令和8年度の展望について説明させていただきます。概略については、次の6点をお願いします。定期総集会。岡谷カノラホールを会場として、本年度同様の参加型の会員研修講座を予定。教育研究集会。委員会ごとに研修旬間の研修との関連を整理して実施し、会員の皆様が参加しやすい研修としていきます。諏訪季節大学。夏休み中の8月4日の午後開催。教職員バスケットボール大会。令和8年度は11月21日。諏訪の子どもや教育を語る会。平日開催を継承しつつ、一般参加を増やしていけるように検討。研究調査委員会の適正化について。令和8年度も継続して検討を進めていきます。

社員の皆様、会員の皆様のご協力により、令和7年度の諸事業を無事に終えることができました。委員定数の適正化や、委員会統合の検討、平日開催とした諏訪の子どもや教育を語る会、7月末の開催となった教育研究集会等、「前へ」進めることのできた1年であったと思います。令和8年度に向けての課題もありますが、今後も社員の皆様、会員の皆様のご協力を賜りながら、諏訪教育会のますますの発展を目指し、「前へ 新たな未来に繋げて」いけますよう邁進して参ります。令和7年度、諏訪教育会へのご協力、ありがとうございました。

各部の報告より 「事業報告書」をご覧ください。

議事より

第1号議案 自然調査研究部 委員会統合案承認に関する件

近年の児童・生徒数減少に伴う教員定数の減少により、諏訪教育会会員数も減少傾向にあります。そんな中、令和7年度は各委員会定数の見直しを行ってきましたが、委員会や委員数の最適化についてはまだ改善の余地があります。そこで令和8年度に向けて、さらに委員会の活動を深化・最適化していくために、自然調査研究部の5つの委員会について、下のように統合する案が提案され、承認されました。

現行

部	委員会
5 自然調査研究	1 地学
	2 植物
	3 動物
	4 気象
	5 陸水

変更案

部	委員会	活動班
5 自然調査研究	自然調査研究委員会	1 地学
		2 植物
		3 動物
		4 気象
		5 陸水

- ・活動班の代表者5名から委員長1名を選出し、4名を副委員長とする。
- ・委員は活動班ごとの所属とはしない(5つの活動班全体をカバーする委員とする)が、それぞれの専門性を大事にしなが、各班の活動に協力し合いながら取り組んでいく。

協議より 今年度県外視察を行った松林達郎先生（富士見中学校）にその概要を発表していただきました。



「総合的な学習の時間における探求的な学びの在り方」をテーマに、東京都渋谷区教育委員会及び渋谷区立上原中学校を視察させていただきました。渋谷区では午後日課を使い、教科を横断する探求的な学び(探求「シブヤ未来科」)として取り組んでおり、実際に学校を視察することで、教育課程の編成やその運用方法を持ち帰り、自校における総合的な学習の時間の計画に生かしたいと考えました。...中略...

(視察を経て)これからは、3年間を見通した探求プログラムの作成 基礎的な探求スキル指導の方策づくり 探求の質の高まりを目指す 表現力・発信力の育成 を図っていきたいと思います。

【質問・意見】

大変参考になった。本校でも取り組んでいる探究のスキル、これが学びに向かうためには必要である。総合的な学習の時間以外でも、このスキルがあると探究の学びができるのかなと思う。子どもが楽しいというのがいちばん、子ども達の楽しい姿を見ると、先生達もうれしくなる。

問いを立てる、ということについては本校でも大きな課題となっている。問いを立てられるようになるために、どのような取り組みをしているか。また、来年はどんな展望を持っているか？

問いをいきなり立てるのは難しいので、問いの立て方については1年生の時から共同探究で進めている。その後、2年生、3年生の個人探究と進めている。

中学3年生のマイ探究にどのようにつなげているのか。

実はここが大変なところ。結局、先生達に関われる時間がわずかなので、一人一人の子ども達が進められるようにある程度道筋をつけてから、あとは自分で進められるように促している。



今年度は、県外視察研修助成に定員8名を上回る計10名の応募があり、大変充実した研修が行われました。松林先生の視察の詳細については社員総会で配布された報告をご覧ください。

【牛山会長のまとめ】

富士見中の松林先生から、県外研修で学ばれたことについて、たくさんのヒントをいただいた。先生方にはぜひ各方面で学びを広げていただきたい。ご協力いただいたアンケートからは、今年度の反省と来年度への展望を多数いただいた。来年度も諏訪教育会の各事業が更に充実したものになるよう、新たな未来につなげていきたいと考えている。一年間ありがとうございました。

正副議長をお務めいただいた荻原正樹社員（茅野北部中）、北澤洋一社員（永明小）のお二人には、1年間に渡って大変お世話になりました。ありがとうございました。

守屋 守 副会長のあいさつより

今年度最後の社員総会でした。社員総会で議案やその他のことについて、活発に意見を交換し合えることは大切だと思います。今回は、県外視察報告もいただき、それについて、感想や質問もたくさん出て、研修を深め合いました。表出し合える社員総会、素敵だと思います。来年度以降もそのような社員総会を目指しましょう。先生方1年間ありがとうございました。



諏訪地区児童生徒書道展

1月10日(土)～29日(木)の間、諏訪教育博物館において「諏訪地区児童生徒書道展」が開催されました。これは長野県および諏訪郡児童生徒美術展覧会(習字の部)で入選した諏訪の児童生徒の書道作品を展示したものです。力作ぞろいのこの書道展に、おかげさまで多くの地域の皆さんにご参観いただきました。ありがとうございました。



【この1年間、諏訪教育会の各種事業にご協力いただき、誠にありがとうございました】